

コンサポ[♥]広場

第2号 平成28年1月発行

発行元 特定非営利活動法人コンシューマーズサポート鳥取

新たなステージ、挑戦への期待

新年あけましておめでとうございます。

日頃は、消費者行政に多大なるご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、新たな取り組みとして、NPO 法人コンシューマーズサポート鳥取（以下「コンサポ鳥取」という）に対して、「地域見守りネットワーク事業」を委託させていただきました。

コンサポ鳥取の皆様方には、定められた企画のなかで、事業運営、参加者募集、講師及び関係者との連絡調整など、周囲に初めての取り組みだと感じさせない程の鮮やかな腕前をご披露いただきました。この研修会では、参加者の中から新たに14名の地域消費生活サポーターの認定を行うことができましたし、市町村や関係機関との連携の具体的なあり方を習得していただく等、今後につながる非常に価値あるものとなりました。

一方、消費生活センターにとりましても、昨年は消費者教育の新たな展開として、障がい者施設や特別支援学校への啓発講座の拡大、全国に先駆けた社会や未来を思いやる倫理的消費（エシカル消費）にかかるシンポジウム及び地区別研修会の開催など、新たな事業への挑戦の年でもありました。

鳥取県生活環境部くらしの安心局

消費生活センター所長 村田 弘子



《消費者庁長官とともに…》

平成27年12月4日、消費生活センターに、消費者庁の坂東久美子長官が来訪されました。

（左側）気軽に、記念撮影に応じていただきました。

近年は、社会のグローバル化や高度情報化など急速な進展により、消費者被害も複雑・多様化する中で、対応困難な相談事案が年々増加してきております。

このような社会情勢の中にありながら、専門的な研修の蓄積とこれまでの実績に裏付けられたコンサポ鳥取相談員の皆様の堅実で的確な活動と新たなステージへの挑戦に対し、敬意と期待を抱いているところでございます。



こんにちは、コンサポ鳥取です！

コンサポ鳥取のスローガンは「消費生活の応援団！」

消費生活のトラブルで困った時、悩んだ時、解決に向けて一緒に考え、トラブルを防ぐために知っておきたい情報をお伝えします。

私たちは、より良い消費生活を応援します！

安全・安心な消費生活のための

地域見守りネットワーク研修会



《消費者教育支援センター 柿野成美講師》

平成 27 年 11 月 12 日（中部）、13 日（東部）、26 日（西部）に「安心・安全な消費生活のための地域見守りネットワーク研修会」が行われました。

この研修会は、鳥取県消費生活センターの委託を受けてコンサポが実施。高齢者の消費者被害を防ぐために、高齢者の見守りの担い手である福祉関係者と行政や消費生活センターとの連携の重要性について学ぼうと、消費者教育支援センターの柿野成美総括主任研究員を講師に招き、ワークショップ形式での対話をメインにした研修会でした。

研修会では、始めに、各会場担当の消費生活相談員が高齢者の消費者トラブルについて、具体的な事例を紹介しながら報告を行った後、柿野講師が「地域で防ぐ消費者トラブル～見守りの充実に向けて～」と題して講演されました。



～会場の様子～



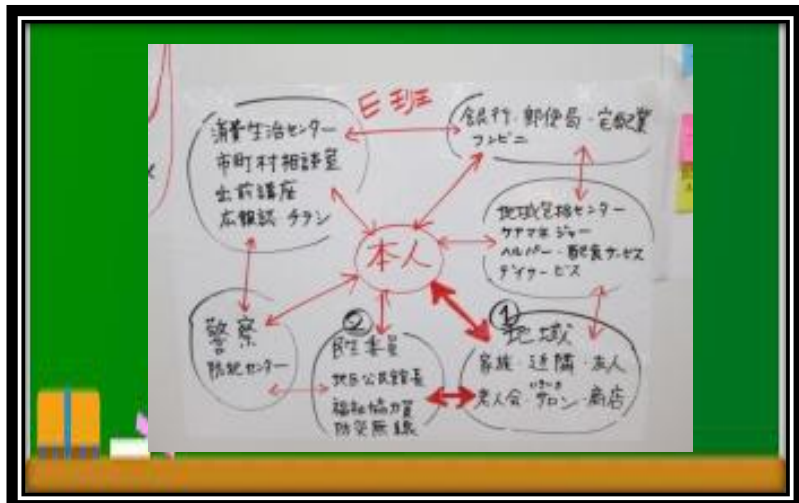
柿野講師は、SF 商法や点検商法の契約トラブルを例にあげて「なぜ

契約してしまったのか」「あなたならどのように声をかけるか」「被害を防ぐために何が必要なのか」と参加者に問いかけながら進行されました。

そして、グループごとに、どんなふうに連携したらよいかなど、活発な意見が飛び交う様子が見られました。

＝各会場の参加人数＝

中部 38 人 東部 43 人 西部 41 人



また、芸達者な参加者が若桜弁などの方言で臨場感あふれる寸劇を披露して、会場を沸かせる場面もあり、和やかな研修会となりました ♪



～寸劇の様子～



26日の西部会場では、柿野講師が体調不良のため、キャンセルというアクシデントがありましたが、急遽、名島相談員が代役を務め、無事研修会を終了することができました。

○ 会合などには、消費者トラブルについて説明をこなす。(11:30アフレコでなく)

○ 「本人」の周りにいる、ある資源を絵に描く。
「具体的な氏名を」(人、組織)
自分では入っていないで、

○ 防犯の川柳や高齢者の方から募集。
(自費のため) 独立、孤独防止のために

○ 高齢者参加型のイベントなどの実施

参加者は、グループに分かれ、どんなふうに見守りのネットワークを繋げていくかを考えながら、楽しく作業しました。

参加者からは「具体的でわかりやすかった」と好評で、アンケートにも「つながることが被害の防止になると感じた」「地域の啓発に活かしたい」「被害防止のアイデアについて見識が広まった」といった感想が寄せられるなど、高い評価を頂くことができました。

今後も、分野の垣根を越えてさらに連携を深め、高齢者の消費者被害を防ぐための地域全体のネットワークを築いていきたいと思ひます。皆様、大変お疲れ様でした。

(前田)



～発表の様子～



東部相談室だより

東部相談室は、昨年度八頭町役場のみなさんと作成した啓発ビデオが大変好評だったので今年度も作成し、町内のケーブルテレビで放送していただくことになりました。今回のテーマは、役場の敏腕プロデューサーと審議を重ね「ワンクリック請求にご注意！」に決定しました。

私たち女優陣の演技をプロデューサーが細かく指導され、TAKE5を超えることもあり、緊張感のある現場でした。プロカメラマンの撮影により素晴らしい作品に仕上がっています。八頭町内の啓発講座に出かけると「寸劇みたよ」と声をかけられることも多くあり、とてもうれしいです。

このDVDで被害が未然に防がれたという話も聞いています。今後も八頭町ではこの活動を長く続けていく予定です。私たち相談員は、さらに演技や発声方法に磨きをかけていきたいと思っています。

東部相談室にDVDがありますので、ぜひ一度ご覧ください。

7月20日

～コンサポ研修会を行いました～



※講師に、北栄町社会福祉協議会の宮地栄子氏をお迎えしました。

「あいサポート運動」をご存知ですか？障がいのある方にとって暮らしやすい、地域社会でともに生きていこうという運動です。「自分にできることは？」を意識することの大切さを感じました。そして今回の研修で、私たちもあいサポーターになりました♡

後半は、「健康づくり講習会」。元気あふれる河村郁子氏に、楽しくストレッチを指導していただきました。日頃の運動不足を痛感です。(＞_＜)

次回の研修会は、3月20日(日)の予定です。是非ご参加ください。(のり子)

=わたしの玉手箱=

去る11月、三朝町教育委員会主催で山口恵梨子女流初段将棋教室が行われました。将棋クラブに通う小学6年生の息子にせがまれ、参加しました。プロの棋士3名による指導に、会場は大いに盛り上がりしました。息子は初めて出会った小学生と将棋を指し、あっという間に時間が経過しました。

私が驚いたのは、3時間にもわたる教室の間、親を含めて会場にいる誰ひとりスマホや携帯電話、ゲーム機を触る姿がなかったことです。最近では小学生の間でのLINEトラブル、ネット依存症などが問題になっています。街中ではゲーム機に夢中になる子供もよく見かけます。

私は啓発講座で「ゲームは一日〇時間までにしましょう」「LINEは9時まで」などと子供たちに教えています。しかし少し目先を変えて、私たちの住む日本に800年ものあいだ伝わるこの素晴らしい伝統のアナログゲームの面白さを子供たちに伝えていければ、ゲーム依存症問題も減るのではと感じました。

息子は毎晩、祖父と将棋を楽しんでいます。ちなみに将棋は脳の老化防止にも良いそうです。ぜひ皆さんも始めてみませんか。(美和)



～編集後記～

坂東久美子 消費者庁長官は気さくな方で、相談室も見学されましたが、備え付けの大きな“さすまた”を見て、とてもびっくりしていらっやいました。いつまでも飾り物のままでありますように。

【編集担当】名島 ゆかり・草野 規子・村本 順子

【問い合わせ先】特定非営利活動法人コンシューマーズサポーター鳥取



いつも応援ありがとうございます！
投稿、おまちしてま～す。